

# 景況感、2期連続の上昇

香川県内企業経営動向調査（平成27年9月実施）

## 概要

**今期(平成27年7～9月期)**の業況判断指数(BSI)は△10.7となり、前期(平成27年4～6月期)実績の△15.0から4.3ポイント上昇した。前年同期(26年7～9月期)実績の△18.1は7.4ポイント上回る水準である。項目別の判断指数をみると、全9項目のうち、前期と比較して上昇した指数は、受注高、生産高、売上高、資金繰り、銀行借入、設備投資、採算の7項目。低下した指数は、在庫高、雇用の2項目である。

**来期(平成27年10～12月期)**の業況判断指数(BSI)の見通しは△1.3となり、今期(27年7～9月期)実績の△10.7から9.4ポイント上昇の見通しである。前年同期(26年10～12月期)実績の△10.3は9.0ポイント上回る水準である。項目別の判断指数をみると、全9項目のうち、今期と比較して上昇する見通しの指数は、受注高、売上高、在庫高、雇用、採算の5項目。低下する見通しの指数は、生産高、銀行借入、設備投資の3項目。不変は資金繰りの1項目である。

**概況** 今期の香川県内企業の業況判断指数(BSI)は、消費増税の反動減からの緩やかな景気の回復基調のなか、2期連続の上昇となった。来期は、円安等に伴う原材料高や人手不足、中国経済の減速等を背景に景気の先行きに慎重な見方もあるものの、季節的な需要の増加も加わり、指数は引き続き上昇する見通しである。

業界業況(BSI)の実績推移と見通し

( )内は前回調査時の見通し

期	平成26年				平成27年		前期	今期	来期
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
製造業	( △ 9.3 )	( △ 13.3 )	( △ 6.3 )	( △ 6.6 )	( △ 29.5 )	( △ 15.6 )	( △ 5.3 )	( △ 2.6 )	
	<b>△ 12.0</b>	<b>△ 25.0</b>	<b>△ 21.1</b>	<b>△ 12.8</b>	<b>△ 28.6</b>	<b>△ 17.3</b>	<b>△ 15.8</b>		
非製造業	( △ 2.7 )	( △ 29.5 )	( 1.3 )	( 5.5 )	( △ 15.4 )	( △ 9.1 )	( △ 2.6 )	( △ 4.8 )	
	<b>15.4</b>	<b>△ 22.1</b>	<b>△ 15.1</b>	<b>△ 7.7</b>	<b>△ 10.4</b>	<b>△ 12.8</b>	<b>△ 6.0</b>		
全産業	( △ 6.1 )	( △ 21.6 )	( △ 2.5 )	( △ 0.7 )	( △ 22.4 )	( △ 12.3 )	( △ 1.3 )	( △ 1.3 )	
	<b>2.0</b>	<b>△ 23.6</b>	<b>△ 18.1</b>	<b>△ 10.3</b>	<b>△ 19.5</b>	<b>△ 15.0</b>	<b>△ 10.7</b>		
前年同期比(差異)	20.1	△ 13.9	△ 12.9	△ 17.1	△ 21.5	8.6	7.4	( △ 9.0 )	

B S I : Business Survey Index の略で、企業動向の現状と先行き見通しに対する企業経営者の判断を数字で表したものの。次の算式により求める。

$$B S I = X - Y$$

X : 「好転(増加)」と回答した企業の割合(百分率)

Y : 「悪化(減少)」と回答した企業の割合(百分率)

※回答は、①好転(増加)、②不変、③悪化(減少)から1つ選択

(注)本文中、時期の略記は、それぞれ次の期間を表す。

・前期：平成27年4～6月、今期：平成27年7～9月、来期：平成27年10～12月

・Ⅰ期：1～3月、Ⅱ期：4～6月、Ⅲ期：7～9月、Ⅳ期：10～12月

# I. 項目別 BSI

## 1. 業界業況判断 BSI

### 2 期連続で上昇し、来期も上昇の見通し。

#### <今期実績(平成 27 年 7~9 月期)>

今期の業界業況判断 BSI は、 $\Delta 10.7$  で、前期 (27 年 4~6 月期) 実績の  $\Delta 15.0$  から 4.3 ポイント上昇した。指数の上昇は 2 期連続である。前年同期 (26 年 7~9 月期) 実績の  $\Delta 18.1$  は 7.4 ポイント上回る水準である。

産業別では、製造業が  $\Delta 15.8$  となり、前期実績の  $\Delta 17.3$  から 1.5 ポイントの上昇。製造業全 8 業種のうち、繊維製品、木材・木製品、その他製造業の 3 業種で指数が上昇した。

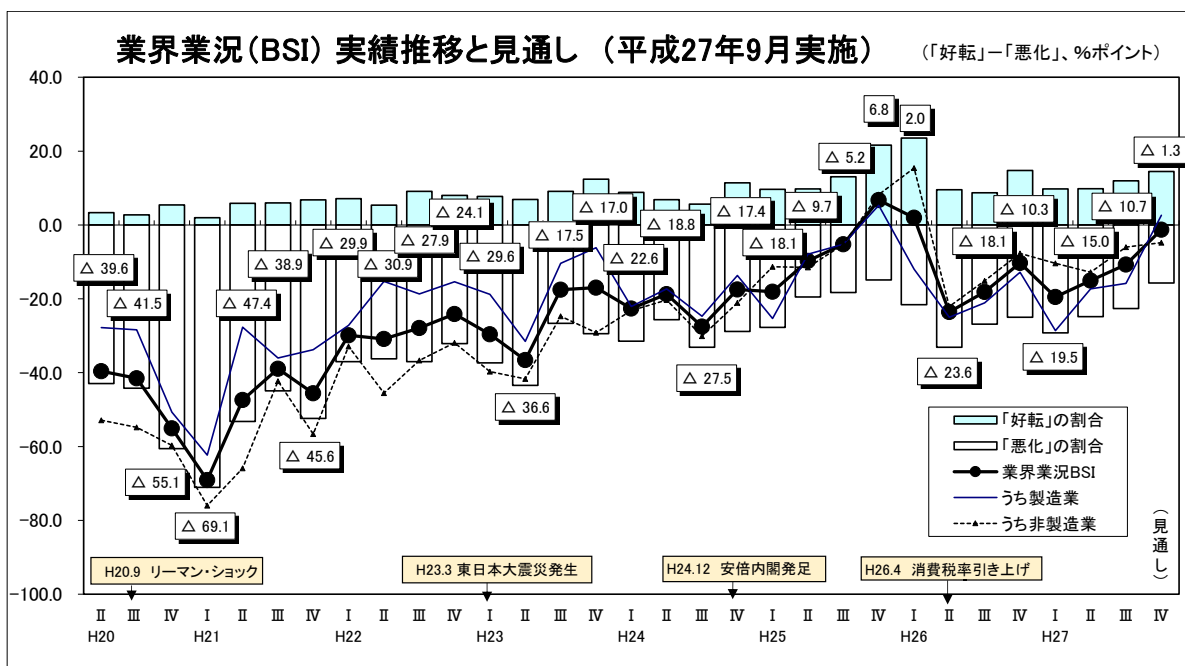
非製造業は  $\Delta 6.0$  となり、前期実績の  $\Delta 12.8$  から 6.8 ポイント上昇した。非製造業全 5 業種のうち、建設業、卸売業、小売業の 3 業種で指数が上昇した。

#### <来期見通し(平成 27 年 10~12 月期)>

来期の業界業況判断見通し BSI は  $\Delta 1.3$  で、今期 (27 年 7~9 月期) 実績の  $\Delta 10.7$  より 9.4 ポイント上昇し、前年同期 (26 年 10~12 月期) 実績の  $\Delta 10.3$  は 9.0 ポイント上回る見通しである。

産業別では、製造業が 2.6 となり、今期実績の  $\Delta 15.8$  から 18.4 ポイントの上昇。製造業全 8 業種のうち、食料品、繊維製品、木材・木製品、金属製品、その他製造業の 5 業種で指数が上昇する見通しである。

非製造業は  $\Delta 4.8$  となり、今期実績の  $\Delta 6.0$  から 1.2 ポイント上昇し、非製造業全 5 業種のうち、卸売業、サービス業その他の 2 業種で指数が上昇する見通しである。



## ■業界業況判断指数（各期比較）

業 種	実 績 値					見 通 し	増 減			
	今期の前年同期 (H26.7-9月)	来期の前年同期 (H26.10-12月)	前 期 (H27.4-6月)	今 期 (H27.7-9月)	来 期 (H27.10-12月)		今期(H27.7-9月)		来期(H27.10-12月)	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)		前期比 (4-3)	前年同期比 (4-1)	今期比 (5-4)	前年同期比 (5-2)
<b>製造業</b>	<b>△ 21.1</b>	<b>△ 12.8</b>	<b>△ 17.3</b>	<b>△ 15.8</b>	<b>2.6</b>	<b>1.5</b>	<b>5.3</b>	<b>18.4</b>	<b>15.4</b>	
食料品	△ 31.3	0.0	0.0	△ 20.0	33.3	△ 20.0	11.3	53.3	33.3	
繊維製品	△ 33.3	△ 37.5	△ 50.0	△ 44.4	△ 33.3	5.6	△ 11.1	11.1	4.2	
木材・木製品	△ 66.7	△ 66.7	△ 71.4	16.7	50.0	88.1	83.4	33.3	116.7	
化学工業・石油製品	△ 20.0	△ 16.7	16.7	△ 16.7	△ 16.7	△ 33.4	3.3	0.0	0.0	
金属製品	20.0	20.0	10.0	△ 22.2	0.0	△ 32.2	△ 42.2	22.2	△ 20.0	
機械器具	9.1	9.1	9.1	9.1	△ 18.2	0.0	0.0	△ 27.3	△ 27.3	
輸送用機械器具	△ 20.0	0.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	0.0	0.0	0.0	△ 20.0	
その他	△ 35.7	△ 33.3	△ 50.0	△ 20.0	6.7	30.0	15.7	26.7	40.0	
<b>非製造業</b>	<b>△ 15.1</b>	<b>△ 7.7</b>	<b>△ 12.8</b>	<b>△ 6.0</b>	<b>△ 4.8</b>	<b>6.8</b>	<b>9.1</b>	<b>1.2</b>	<b>2.9</b>	
建設業	16.7	△ 7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	△ 9.6	△ 7.1	7.1	
卸売業	△ 18.8	△ 5.9	△ 18.8	△ 15.8	△ 10.5	3.0	3.0	5.3	△ 4.6	
小売業	△ 11.8	△ 21.1	△ 19.0	9.1	△ 4.5	28.1	20.9	△ 13.6	16.6	
運輸業	△ 40.0	△ 30.0	△ 22.2	△ 30.0	△ 30.0	△ 7.8	10.0	0.0	0.0	
サービス業 その他	△ 22.2	16.7	△ 5.6	△ 11.1	11.1	△ 5.5	11.1	22.2	△ 5.6	
<b>合 計</b>	<b>△ 18.1</b>	<b>△ 10.3</b>	<b>△ 15.0</b>	<b>△ 10.7</b>	<b>△ 1.3</b>	<b>4.3</b>	<b>7.4</b>	<b>9.4</b>	<b>9.0</b>	

## 2. 受注高判断 BSI

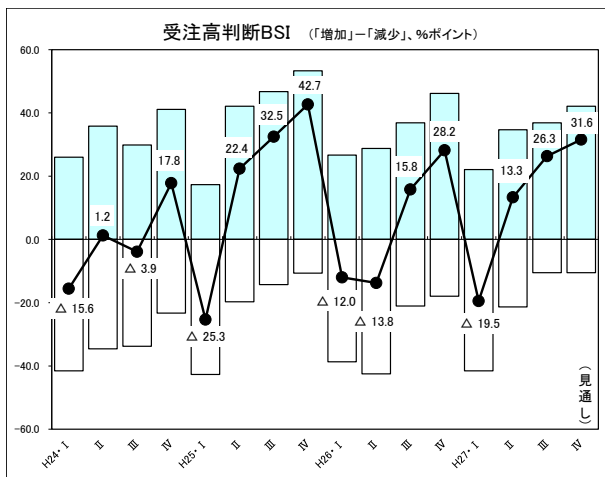
2期連続で上昇し、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成27年7～9月期)＞

今期の受注高BSIは26.3で前期実績の13.3を13.0ポイント上回った。前年同期実績の15.8は10.5ポイント上回る水準である。

＜来期見通し(平成27年10～12月期)＞

来期の受注高見通しBSIは31.6で今期実績の26.3から5.3ポイントの上昇の見通しで、前年同期実績の28.2も3.4ポイント上回る水準である。



業 種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
<b>製造業</b>	13.0	10.5	5.3	3.4
食料品	△ 22.1	9.2	6.6	6.2
繊維製品	△ 12.5	0.0	11.1	23.6
木材・木製品	107.1	83.3	16.7	66.7
化学工業・石油製品	△ 33.3	36.7	16.6	△ 16.7
金属製品	0.0	△ 20.0	33.3	3.3
機械器具	45.5	△ 9.1	△ 36.4	△ 18.2
輸送用機械器具	0.0	0.0	0.0	△ 20.0
その他	35.0	19.6	6.6	0.0
<b>合 計</b>	<b>13.0</b>	<b>10.5</b>	<b>5.3</b>	<b>3.4</b>

(注)非製造業は調査対象外

### 3. 生産高判断 BSI

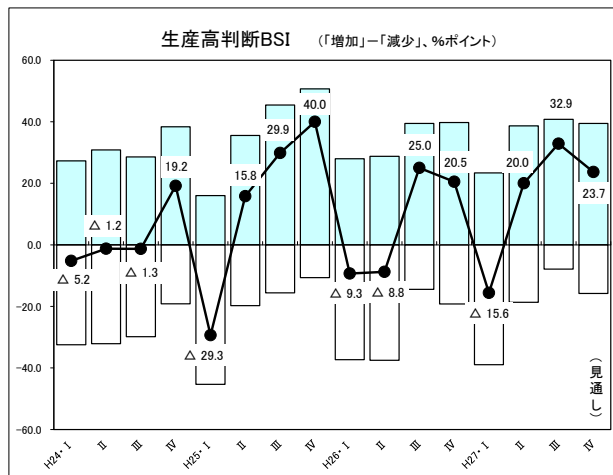
2期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 27 年 7～9 月期)＞

今期の生産高 BSI は 32.9 で、前期実績の 20.0 を 12.9 ポイント上回った。前年同期実績の 25.0 は 7.9 ポイント上回る水準である。

＜来期見通し(平成 27 年 10～12 月期)＞

来期の生産高見通し BSI は 23.7 で今期実績の 32.9 を 9.2 ポイント下回る見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	12.9	7.9	△ 9.2	3.2
食品	△ 22.1	21.7	0.0	△ 6.2
繊維製品	11.1	△ 33.3	△ 22.2	26.4
木材・木製品	64.3	66.7	0.0	66.7
化学工業・石油製品	△ 50.0	36.7	33.3	0.0
金属製品	23.3	△ 6.7	0.0	13.3
機械器具	36.4	△ 9.1	△ 45.5	△ 18.2
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	0.0	△ 20.0
その他	50.0	19.0	△ 13.3	0.0
合計	12.9	7.9	△ 9.2	3.2

(注)非製造業は調査対象外

#### 【売上高の増加・減少要因】

「売上高増加要因」の1位は「季節的な需要増加」の52.7%、次いで「販売力の強化」と「その他」が14.9%、「景気動向」が13.5%。「減少要因」は1位が「季節的な需要減少」の63.0%、次いで「景気動向」の18.5%、「販売力の低下」の11.1%となっている。

### 4. 売上高判断 BSI

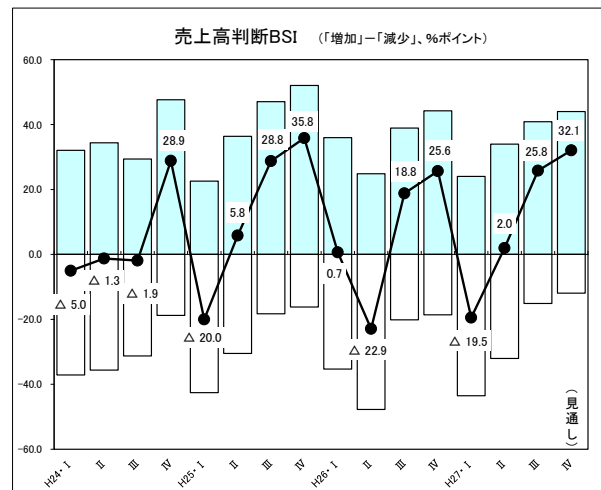
2期連続で上昇し、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成 27 年 7～9 月期)＞

今期の売上高 BSI は、製造業 28.9、非製造業 22.9、全産業で 25.8 となり、前期実績を 23.8 ポイント上回った。前年同期実績も 7.0 ポイント上回る水準。

＜来期見通し(平成 27 年 10～12 月期)＞

来期の売上高見通し BSI は、製造業 31.6、非製造業 32.5、全産業で 32.1 となり、今期実績の 25.8 を 6.3 ポイント上回り、指数自体も 3 期連続のプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	23.6	9.2	2.7	△ 0.5
食品	△ 8.8	22.5	△ 6.7	△ 5.5
繊維製品	22.2	△ 22.2	△ 11.1	△ 26.4
木材・木製品	92.9	83.3	16.7	66.7
化学工業・石油製品	△ 33.4	3.3	50.0	△ 16.7
金属製品	12.2	2.2	11.1	3.3
機械器具	72.8	0.0	△ 36.4	△ 18.2
輸送用機械器具	20.0	△ 20.0	0.0	△ 20.0
その他	28.3	12.9	20.0	20.0
非製造業	24.2	5.1	9.6	13.3
建設業	42.9	11.9	△ 14.3	21.4
卸売業	16.8	△ 8.3	26.3	△ 16.1
小売業	32.1	△ 2.1	9.1	15.3
運輸業	8.9	20.0	20.0	50.0
サービス業 その他	16.7	11.1	5.5	11.1
合計	23.8	7.0	6.3	6.5

## 5. 在庫高判断 BSI

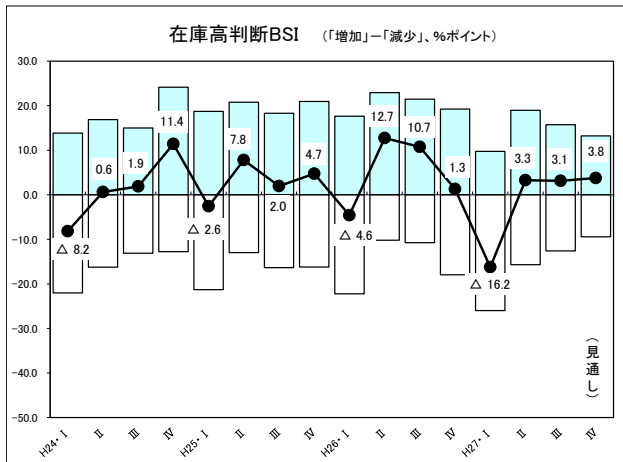
2期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成27年7～9月期)＞

今期の在庫高 BSI は、製造業 5.3、非製造業 1.2、全産業で 3.1 となり、前期実績の 3.3 は 0.2 ポイント下回った。前年同期実績の 10.7 は 7.6 ポイント下回る水準も指数自体は 2 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成27年10～12月期)＞

来期の在庫高見通し BSI は、製造業が 0.0、非製造業は 7.2、全産業では 3.8 となり、今期実績の 3.1 を 0.7 ポイント上回り、指数自体も 3 期連続のプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 5.4	△ 9.2	△ 5.3	△ 2.6
食料品	△ 13.3	△ 0.8	20.0	△ 10.9
繊維製品	68.1	11.2	△ 88.9	△ 8.3
木材・木製品	△ 2.4	△ 33.4	50.0	83.3
化学工業・石油製品	△ 66.6	△ 33.3	33.3	0.0
金属製品	△ 27.8	△ 17.8	△ 11.1	11.1
機械器具	△ 18.2	△ 18.2	0.0	△ 18.2
輸送用機械器具	0.0	0.0	0.0	△ 20.0
その他	5.0	△ 1.0	△ 20.0	△ 13.4
非製造業	5.0	△ 5.6	6.0	7.2
建設業	21.5	△ 7.1	7.1	14.3
卸売業	14.8	△ 10.2	△ 5.3	4.0
小売業	0.3	1.4	13.6	3.8
運輸業	0.0	10.0	0.0	0.0
サービス業 その他	△ 11.2	△ 16.7	11.2	11.2
合計	△ 0.2	△ 7.6	0.7	2.5

## 6. 資金繰り判断 BSI

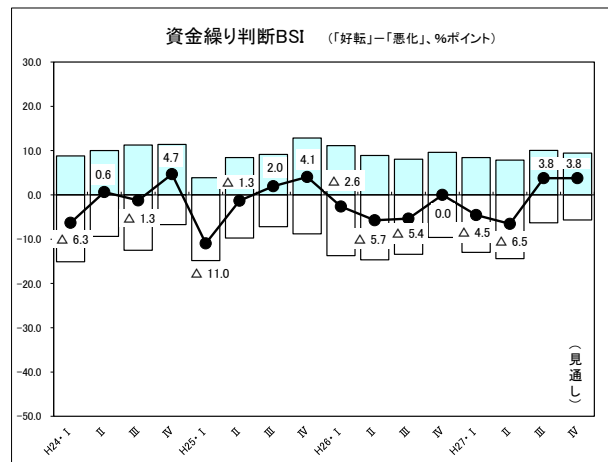
3期ぶりに上昇し、来期は不変の見通し。

＜今期実績(平成27年7～9月期)＞

今期の資金繰り BSI は、製造業が 3.9、非製造業が 3.6、全産業では 3.8 となり、前期実績の △6.5 を 10.3 ポイント上回った。前年同期実績の △5.4 は 9.2 ポイント上回る水準である。

＜来期見通し(平成27年10～12月期)＞

来期の資金繰り見通し BSI は、製造業が 9.2、非製造業が △1.2、全産業では 3.8 となり、今期実績と不変で、指数自体は 2 期連続のプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	15.9	10.5	5.3	13.0
食料品	25.5	6.7	0.0	△ 10.9
繊維製品	12.5	11.1	0.0	0.0
木材・木製品	40.4	16.6	66.7	83.3
化学工業・石油製品	0.0	93.3	△ 16.6	33.4
金属製品	21.1	21.1	11.1	22.2
機械器具	△ 9.1	△ 18.2	△ 27.3	△ 27.3
輸送用機械器具	0.0	20.0	0.0	20.0
その他	26.6	△ 6.7	20.0	33.3
非製造業	4.9	7.7	△ 4.8	△ 5.0
建設業	△ 7.1	△ 8.3	0.0	△ 14.3
卸売業	0.0	6.3	0.0	0.0
小売業	13.6	7.7	△ 22.7	△ 14.4
運輸業	2.2	△ 10.0	10.0	0.0
サービス業 その他	11.1	27.8	0.0	5.5
合計	10.3	9.2	0.0	3.8

## 7. 銀行借入判断 BSI

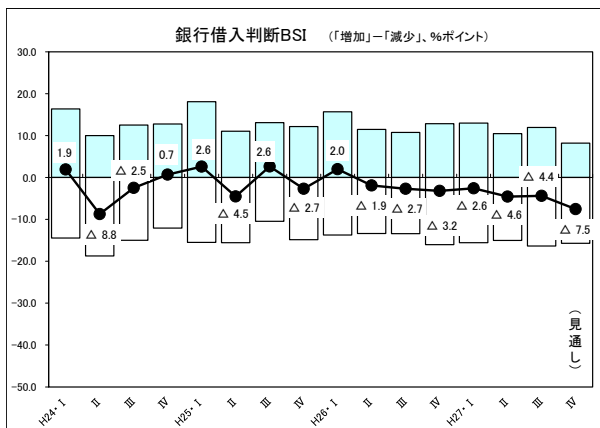
2 期ぶりに上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 27 年 7～9 月期)＞

今期の銀行借入 BSI は、製造業が 0.0、非製造業が△8.4、全産業では△4.4 となり、前期実績の△4.6 を 0.2 ポイント上回った。前年同期実績の△2.7 は 1.7 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成 27 年 10～12 月期)＞

来期の銀行借入の見通し BSI は、製造業が△9.2、非製造業が△6.0、全産業では△7.5 となり、今期実績の△4.4 を 3.1 ポイント下回り、指数自体も 7 期連続のマイナス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 1.3	3.9	△ 9.2	△ 6.6
食料品	△ 5.8	6.7	△ 13.4	△ 0.8
繊維製品	9.7	11.1	0.0	22.2
木材・木製品	△ 19.0	0.0	0.0	16.7
化学工業・石油製品	16.7	△ 33.3	16.6	△ 33.4
金属製品	1.1	11.1	△ 11.1	20.0
機械器具	△ 18.2	0.0	0.0	△ 9.1
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 40.0	0.0	△ 40.0
その他	11.7	27.1	△ 33.3	△ 33.3
非製造業	1.9	△ 7.0	2.4	△ 2.2
建設業	14.3	△ 22.6	7.2	△ 35.7
卸売業	△ 10.5	△ 16.8	△ 21.1	△ 19.8
小売業	△ 4.1	△ 19.5	27.2	24.1
運輸業	11.1	20.0	0.0	10.0
サービス業 その他	5.6	11.1	△ 5.6	5.5
合計	0.2	△ 1.7	△ 3.1	△ 4.3

## 8. 設備投資判断 BSI

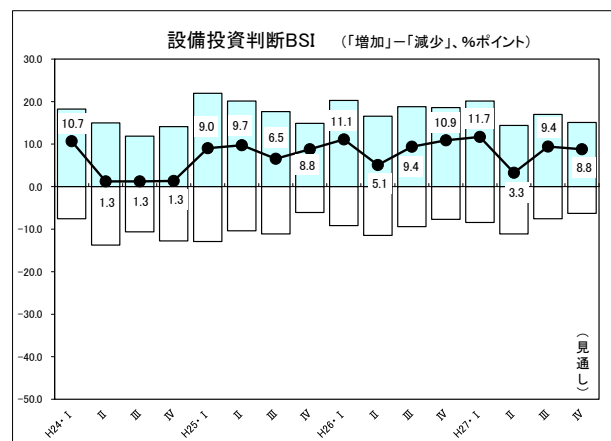
2 期ぶりに上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 27 年 7～9 月期)＞

今期の設備投資 BSI は、製造業が 11.8、非製造業が 7.2、全産業では 9.4 となり、前期実績の 3.3 を 6.1 ポイント上回った。前年同期実績の 9.4 と同じ水準で、指数自体も 21 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成 27 年 10～12 月期)＞

来期の設備投資の見通し BSI は、製造業が 14.5、非製造業が 3.6、全産業では 8.8 となり、今期実績の 9.4 を 0.6 ポイント下回る見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	6.5	1.3	2.7	0.4
食料品	△ 18.3	△ 5.8	0.0	6.7
繊維製品	△ 12.5	11.1	22.2	9.7
木材・木製品	14.3	0.0	33.3	66.6
化学工業・石油製品	0.0	△ 20.0	0.0	16.7
金属製品	32.2	△ 7.8	0.0	△ 27.8
機械器具	27.3	9.1	△ 45.5	△ 36.4
輸送用機械器具	0.0	△ 20.0	20.0	△ 40.0
その他	13.3	20.4	13.4	13.4
非製造業	5.9	△ 1.0	△ 3.6	△ 4.1
建設業	△ 21.4	△ 15.4	7.1	△ 21.4
卸売業	△ 2.0	△ 8.3	0.0	10.5
小売業	4.5	4.5	9.1	△ 2.2
運輸業	32.2	20.0	△ 40.0	△ 30.0
サービス業 その他	22.3	0.0	△ 11.1	5.6
合計	6.1	0.0	△ 0.6	△ 2.1

### 【設備投資目的】

1位「維持更新」47.9%、2位「能力増強」、「合理化・省力・省エネ・技術開発」18.1%、4位「新製品・新規事業」9.6%。

## 9. 雇用状況判断 BSI

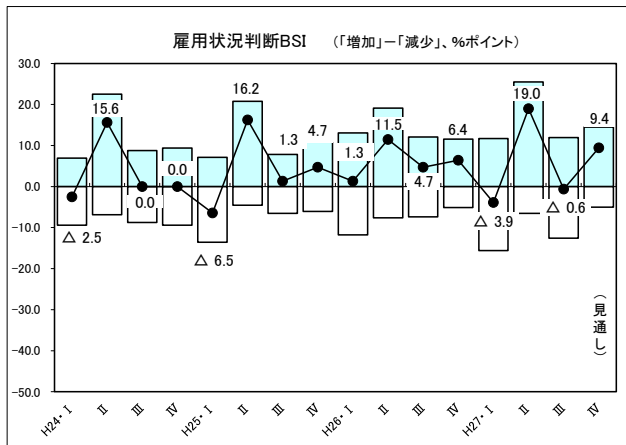
2 期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

< 今期実績 (平成 27 年 7~9 月期) >

今期の雇用状況 BSI は、製造業が 1.3、非製造業が△2.4、全産業では△0.6 となり、前期実績の 19.0 を 19.6 ポイント下回った。前年同期実績の 4.7 は 5.3 ポイント下回る水準である。

< 来期見通し (平成 27 年 10~12 月期) >

来期の雇用状況見通し BSI は、製造業が 7.9、非製造業が 10.8、全産業では 9.4 となり、今期実績の△0.6 を 10.0 ポイント上回り、指数自体も 2 期ぶりのプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 21.4	△ 11.9	6.6	1.5
食料品	△ 31.3	△ 25.0	20.0	2.4
繊維製品	11.1	0.0	△ 22.2	1.4
木材・木製品	0.0	△ 33.3	16.7	16.7
化学工業・石油製品	△ 33.3	20.0	0.0	0.0
金属製品	△ 70.0	△ 10.0	11.1	1.1
機械器具	△ 18.2	△ 9.1	9.1	9.1
輸送用機械器具	0.0	20.0	△ 20.0	△ 20.0
その他	△ 6.7	△ 21.0	13.4	0.0
非製造業	△ 17.8	1.7	13.2	4.4
建設業	△ 7.1	14.3	0.0	28.6
卸売業	△ 31.3	△ 12.5	15.8	4.0
小売業	△ 19.0	11.8	18.2	2.4
運輸業	13.3	△ 10.0	0.0	△ 10.0
サービス業 その他	△ 27.8	0.0	22.2	△ 5.6
合計	△ 19.6	△ 5.3	10.0	3.0

## 10. 採算判断 BSI

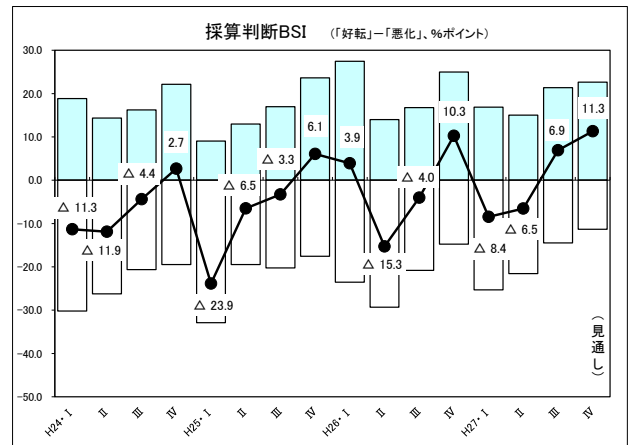
2 期連続で上昇し、来期も上昇の見通し。

< 今期実績 (平成 27 年 7~9 月期) >

今期の採算 BSI は、製造業が 10.5、非製造業が 3.6、全産業では 6.9 となり、前期実績の△6.5 を 13.4 ポイント上回った。前年同期実績の△4.0 は 10.9 ポイント上回る水準である。

< 来期見通し (平成 27 年 10~12 月期) >

来期の採算見通し BSI は、製造業が 19.7、非製造業が 3.6、全産業では 11.3 となり、今期実績の 6.9 を 4.4 ポイント上回り、指数自体も 2 期連続のプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	15.8	17.1	9.2	14.6
食料品	△ 6.3	△ 6.3	26.7	3.2
繊維製品	58.3	33.3	△ 22.2	△ 1.4
木材・木製品	11.9	16.6	50.0	83.3
化学工業・石油製品	△ 50.0	80.0	33.3	16.6
金属製品	33.3	33.3	△ 11.1	12.2
機械器具	36.4	△ 18.2	△ 27.3	△ 27.3
輸送用機械器具	20.0	20.0	20.0	60.0
その他	15.0	28.1	20.0	26.7
非製造業	11.3	5.0	0.0	△ 11.8
建設業	7.1	△ 8.3	7.1	△ 7.2
卸売業	0.0	18.8	△ 5.3	△ 22.9
小売業	50.7	36.4	△ 36.4	△ 10.5
運輸業	△ 6.7	△ 40.0	30.0	△ 10.0
サービス業 その他	△ 11.2	△ 11.2	27.8	△ 5.6
合計	13.4	10.9	4.4	1.0

(集計結果)

項目別BSIの全集計結果

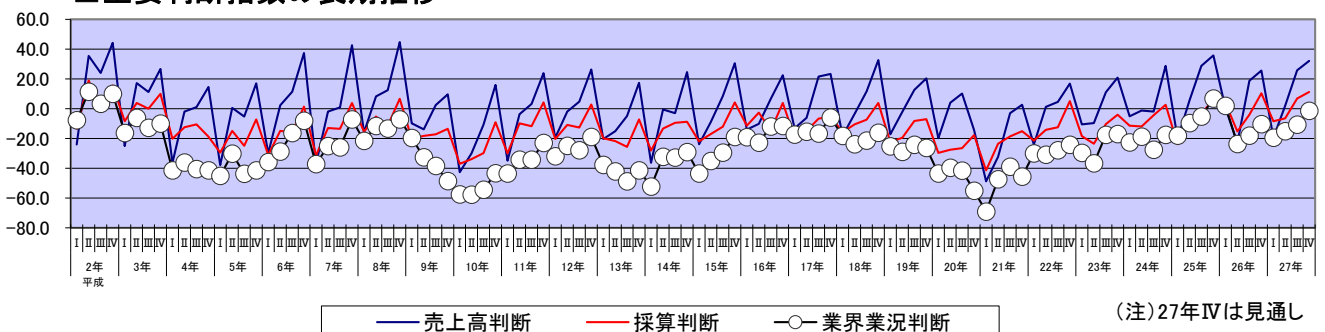
■ 今期(平成27年7~9月期) 企業経営動向実績(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇用	採算	業界業況
製造業	26.3	32.9	28.9	5.3	3.9	0.0	11.8	1.3	10.5	△ 15.8
1. 食料品	46.7	46.7	60.0	△ 13.3	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	△ 20.0
2. 繊維製品	0.0	11.1	22.2	55.6	0.0	22.2	0.0	11.1	33.3	△ 44.4
3. 木材・木製品	50.0	50.0	50.0	△ 16.7	△ 16.7	△ 33.3	0.0	0.0	△ 16.7	16.7
4. 化学工業・石油製品	16.7	16.7	△ 16.7	△ 33.3	33.3	△ 33.3	0.0	0.0	0.0	△ 16.7
5. 金属製品	0.0	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	33.3	△ 22.2
6. 機械器具	36.4	36.4	27.3	0.0	9.1	△ 9.1	36.4	0.0	18.2	9.1
7. 輸送用機械器具	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	△ 40.0	0.0	20.0	0.0	△ 20.0
8. その他	26.7	33.3	20.0	13.3	△ 6.7	20.0	13.3	△ 6.7	6.7	△ 20.0
うち 紙・紙製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち 窯業・土石製品	△ 100.0	△ 50.0	△ 100.0	50.0	△ 50.0	50.0	0.0	0.0	△ 50.0	△ 100.0
非製造業	-	-	22.9	1.2	3.6	△ 8.4	7.2	△ 2.4	3.6	△ 6.0
9. 建設業	-	-	28.6	△ 7.1	0.0	△ 14.3	△ 7.1	14.3	0.0	7.1
[卸・小売業 計]	-	-	19.5	7.3	7.3	△ 12.2	7.3	0.0	19.5	△ 2.4
10. 卸売業	-	-	10.5	21.1	0.0	△ 10.5	10.5	0.0	0.0	△ 15.8
11. 小売業	-	-	27.3	△ 4.5	13.6	△ 13.6	4.5	0.0	36.4	9.1
12. 運輸業	-	-	20.0	0.0	△ 20.0	0.0	10.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 30.0
13. サービス業 その他	-	-	27.8	△ 5.6	11.1	0.0	16.7	△ 11.1	△ 5.6	△ 11.1
合計	26.3	32.9	25.8	3.1	3.8	△ 4.4	9.4	△ 0.6	6.9	△ 10.7

■ 来期(平成27年10~12月期) 企業経営動向見通し(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇用	採算	業界業況
製造業	31.6	23.7	31.6	0.0	9.2	△ 9.2	14.5	7.9	19.7	2.6
1. 食料品	53.3	46.7	53.3	6.7	6.7	△ 6.7	6.7	20.0	26.7	33.3
2. 繊維製品	11.1	△ 11.1	11.1	△ 33.3	0.0	22.2	22.2	△ 11.1	11.1	△ 33.3
3. 木材・木製品	66.7	50.0	66.7	33.3	50.0	△ 33.3	33.3	16.7	33.3	50.0
4. 化学工業・石油製品	33.3	50.0	33.3	0.0	16.7	△ 16.7	0.0	0.0	33.3	△ 16.7
5. 金属製品	33.3	33.3	33.3	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	0.0
6. 機械器具	0.0	△ 9.1	△ 9.1	0.0	△ 18.2	△ 9.1	△ 9.1	9.1	△ 9.1	△ 18.2
7. 輸送用機械器具	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	△ 40.0	20.0	0.0	20.0	△ 20.0
8. その他	33.3	20.0	40.0	△ 6.7	13.3	△ 13.3	26.7	6.7	26.7	6.7
うち 紙・紙製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0
うち 窯業・土石製品	100.0	50.0	100.0	△ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
非製造業	-	-	32.5	7.2	△ 1.2	△ 6.0	3.6	10.8	3.6	△ 4.8
9. 建設業	-	-	14.3	0.0	0.0	△ 7.1	0.0	14.3	7.1	0.0
[卸・小売業 計]	-	-	36.6	12.2	△ 4.9	△ 7.3	12.2	17.1	△ 2.4	△ 7.3
10. 卸売業	-	-	36.8	15.8	0.0	△ 31.6	10.5	15.8	△ 5.3	△ 10.5
11. 小売業	-	-	36.4	9.1	△ 9.1	13.6	13.6	18.2	0.0	△ 4.5
12. 運輸業	-	-	40.0	0.0	△ 10.0	0.0	△ 30.0	△ 20.0	△ 10.0	△ 30.0
13. サービス業 その他	-	-	33.3	5.6	11.1	△ 5.6	5.6	11.1	22.2	11.1
合計	31.6	23.7	32.1	3.8	3.8	△ 7.5	8.8	9.4	11.3	△ 1.3

■ 主要判断指数の長期推移





## II. 経営上の問題点

1位は「求人難」の19.4%で、2期連続のトップとなった。2位は、円安などを背景とする「原材料(仕入)高」で16.5%、3位は「設備老朽化」の14.4%、4位は「過当競争」の12.9%、5位は「販売(受注)不振」の12.4%、6位は「製品(販売)安」の9.7%、7位は「賃金上昇」の6.2%である。

### 「経営上の問題点」の推移

平成26年/10～12月期			平成27年/1～3月期			平成27年/4～6月期			平成27年/7～9月期		
順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比
1	原材料(仕入)高	20.5%	1	原材料(仕入)高	19.3%	1	求人難	19.9%	1	求人難	19.4%
2	過当競争	15.6%	2	求人難	17.2%	2	原材料(仕入)高	19.0%	2	原材料(仕入)高	16.5%
3	求人難	15.0%	3	過当競争	15.4%	3	販売(受注)不振	14.0%	3	設備老朽化	14.4%
3	販売(受注)不振	15.0%	4	販売(受注)不振	15.1%	4	過当競争	13.4%	4	過当競争	12.9%
5	製品(販売)安	12.2%	5	設備老朽化	11.8%	5	設備老朽化	12.1%	5	販売(受注)不振	12.4%
6	設備老朽化	11.6%	6	製品(販売)安	9.4%	6	製品(販売)安	10.6%	6	製品(販売)安	9.7%
7	賃金上昇	4.9%	7	賃金上昇	5.4%	7	賃金上昇	6.2%	7	賃金上昇	6.2%
8	その他	1.5%	8	環境対応	3.3%	8	その他	1.9%	8	環境対応	2.1%
9	設備不足	1.2%	9	設備不足	0.9%	9	設備不足	1.2%	9	その他	1.5%
9	環境対応	1.2%	9	借入れ難	0.9%	10	金利負担増	0.9%	9	設備不足	1.5%
11	金利負担増	0.9%	11	その他	0.6%	11	環境対応	0.3%	9	金利負担増	1.5%
12	借入れ難	0.3%	12	金利負担増	0.3%	11	借入れ難	0.3%	12	借入れ難	0.9%
13	回収条件の悪化	0.0%	12	回収条件の悪化	0.3%	13	回収条件の悪化	0.0%	12	設備過剰	0.9%
13	設備過剰	0.0%	14	設備過剰	0.0%	13	設備過剰	0.0%	14	回収条件の悪化	0.3%

### 企業経営動向調査概要

- ① 調査時期：平成27年9月4日～10月2日  
(毎年3・6・9・12月実施)
- ② 調査事項：受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算、業界業況の各項目別BSI、売上高の増加・減少要因、設備投資目的、経営上の問題点
- ③ 調査方法：景況感についての調査  
前期(平成27年4～6月)と比較した今期(平成27年7～9月)の実績及び今期(平成27年7～9月)と比較した来期(平成27年10～12月)の見通しを調査。
- ④ 調査対象：県内に本社または主工場を持つ主要企業256社
- ⑤ 有効回答率：62.1%(有効回答数159社)

### 業種別回答数及び構成比

業種	回答社数	構成比
<b>製造業</b>	<b>76</b>	<b>47.8%</b>
食料品	15	9.4%
繊維製品	9	5.7%
木材・木製品	6	3.8%
化学工業・石油製品	6	3.8%
金属製品	9	5.7%
機械器具	11	6.9%
輸送用機械器具	5	3.1%
その他	15	9.4%
<b>非製造業</b>	<b>83</b>	<b>52.2%</b>
建設業	14	8.8%
卸売業	19	11.9%
小売業	22	13.8%
運輸業	10	6.3%
サービス業 その他	18	11.3%
<b>合計</b>	<b>159</b>	<b>100.0%</b>

(H27.10.20 主任研究員 高木俊裕)